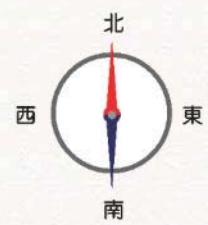




おう さか 逢坂地区ガイドマップ



逢坂地区は、南に「鷲峰山」、北に日本海を望む南北に6キロ、東西1キロの細長い地域で、大地は多彩な農産物を産み出す肥沃な「黒ぼく(地元ではクロボコと呼ぶ)」土壌の地で、素朴な自然がたくさんあるところです。
 平成の名水100選に選定された「布勢の清水」や樹齢400年を超える「大タブの木」、国指定史跡の「亀井茲矩の墓」、特異な漁法の「うくい突き」で知られる大堤池などがあります。

お問合せは
 逢坂むらづくり協議会事務局
 逢坂地区公民館
 ☎0857-84-2455
 E-mail cc-osaka@it.city.tottori.tottori.jp

① 布勢の清水

コンコンと
湧き出る清水



布勢平神社境内の岩の下からコンコンと湧き出ており、周辺には「梅花藻(バイカモ)」が自生している。
現在では集落内の湧出しの他に、所書池の3ヶ所に湧し、湧出しの総水量も取られており、連年利用者が絶えない。

◆2008年(平成20年)【平成の名水百選】に選定
◆2014年(平成26年)【山根海岸ジオパークのジオサイト】に認定
Check!

② 木喰仏像

一本木で彫刻された
微笑みの仏像



飯屋の正命庵に、江戸中期に遊行僧として著名な木喰上人が制作したと言われる微笑みの仏像「十一面観音菩薩立像」が安置されている。仏像は像高76.5cm、ケヤキ材を用いた円形光背を背って両手で至瓶を支え、三重の蓮華台にのる姿全てが一本木で彫刻されている。

◆1983年(昭和58年)【黒原文化財】に指定
Check!

③ 阿弥陀の森 大タブの木

樹齢400年の
泉内が、白目に
大きさと驚かされる



地区の中央部に位置し、樹齢400年を誇る大タブの木は境内で3番目に大きいと書われ、樹冠、幹の状態など他に比へて容姿が美しく老木の威厳がある。

◆1991年(平成3年)「とっとりの鈴木百選」市指定文化財
Check!

④ 亀井茲矩公の墓

鹿野城主
亀井茲矩のお墓



田中の明聖ヶ原にある墓碑は、鹿野城主亀井茲矩の運命によりこの地に建てられたものである。石碑は高さ3m、2段の石垣の台座の上に建てられており、碑には寛長17年(1612年)正月二十六日に没した(中山道月大居士)のために、城主孝子(母)が建立したと刻まれている。

◆2018年(平成30年2月)【国指定史跡】
Check!

⑤ お地藏さんの水

子宝地藏の
脇から湧き出る
清水



隣達の村道沿いにならずむ、子宝地藏の脇から湧き出る清水は、古くから地元住民に親しまれ、飲用水として利用されてきた。

Check!
◆2014年(平成26年)「とっとり因伯の名水」に選定

⑥-1 大堤池

430年前に
できた大堤池



今から430年前、当地を治めた鹿野城主亀井茲矩が境内の新田開墾を行う、必要な水を確保するために造った約4ヘクタール、の渾池が大堤池である。
当地は河津段丘の地層がよく露れ、山陰海岸ジオパークのジオサイトに認定。

⑥-2 大堤のうぐい突き

秋の風物詩
伝統的な漁法



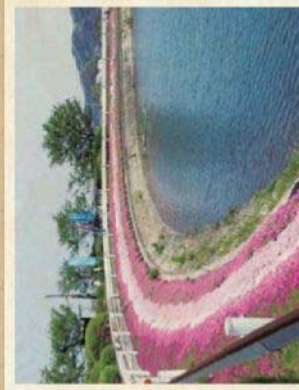
毎年秋に、濁まった土やゴミを取り除くために水抜きが行われるが、この時渾池の魚を獲るために行われるのが「うぐい突き」と呼ばれる漁法で、この地の秋の風物詩となっている。



漁具は、竹で編んだ底の無い特型のもので、これを水中に突き、魚の反応があれば獲るといった方法で、この漁法は亀井公が御朱印船屋船によってシヤムから持ち帰ったものと言われている。

⑥-3 大堤の芝桜

4月~5月上旬、
6千株が咲き誇る



2013年(平成25年)から大堤法面に芝桜の植栽事業が始まり、4月から5月上旬にかけて6千株の芝桜が華やかに咲きほこっている。また、他の場所でも芝桜の植栽が進んでいる。

⑦ 会下のしだれ桜

見事な
しだれ桜



民家の庭に植えられたしだれ桜が通なっている様子は風景で、道行く人の目を惹きつけている。

